

◆◆◆◆◆ 長崎OMURA室内合奏団 定期演奏会開催 ◆◆◆◆◆

第18回長崎・第33回大村 5月定期演奏会の聴きどころ



おおた
太田さあり(ヴァイオリン)

いつもNOCEを応援していただきありがとうございます。今年の5月定期演奏会は、20世紀前半に生み出された珠玉の作品をお届けいたします。

まず1曲目は、エルガーの序奏とアレグロ(1905)です。エルガーが旅行したウェールズ地方の民謡がもとになっており、その美しい旋律は、ヴィオラ独奏で歌われています。編成は弦楽四重奏+弦楽オーケストラ。エルガーラしい弦楽器の音色が響き渡る、とても素敵な作品となっております。

2曲目は、ラヴェルのクープランの墓(1919)。クープラン(1668-1733)は、ラヴェルが尊敬していたバロック時代のフランスの作曲家です。クープランへの尊敬の念を込めて、そして戦死した知人

たちへのレクイエムとして作曲されています。元々はピアノ組曲であります、管弦楽版はその中から4曲の構成となっています。作曲当時は第一次世界大戦の最中でした。世界の平和をただただ祈るばかりです。

そして3曲目は、バルトークの弦楽のためのディヴェルティメント(1939)です。スイスの避暑地にてわずか2週間で書き上げた、バルトーク58歳円熟期の作品です。エルガーの序奏とアレグロと同様、バルック時代の合奏協奏曲のスタイルを取り入れており、どの楽章でもそれぞれの楽器のソリストが活躍しています。第1,3楽章は快活で、民族音楽のリズムやメロディーを多く感じることができます。第2楽章は、バルトークらしい「夜」を思わせる神秘的な音楽です。

ここまで3曲目紹介してきましたが、皆様とホールでお会いできる頃には、世界が少しでも明るい未来へと向かっていることを願っております。是非ホールにて、ひとりでも多くの方にNOCEの音色を堪能していただければと思います。今後ともどうぞ宜しくお願ひ致します。

～2021～2023シリーズ室内合奏団の魅力を探る。～

20世紀音楽への源流。 ラヴェル、エルガー、バルトーク

◆ 第18回長崎定期：5月20日(金)19時開演(18時開場) 長崎市民会館・文化ホール

◆ 第33回大村定期：5月21日(土)14時開演(13時開場) シーハットおおむら・さくらホール

♪エルガー／序奏とアレグロ 作品47

♪ラヴェル／クープランの墓

♪バルトーク／弦楽のためのディヴェルティメント

出演／松原 勝也(コンサートマスター)
長崎OMURA室内合奏団

好評
発売中！

[全席指定・前売]
大人3,500円 学生1,000円
(当日各500円増し) ※未就学児は入場できません

第1回
佐世保
定期演奏会
は

8月27日(土)14時開演(13時開場) アルカスSASEBO中ホール

チケット発売開始 5月24日(火)

※プログラムは同一です。



感染予防対策にご協力ください

入場時には体温チェックを
させていただきます。

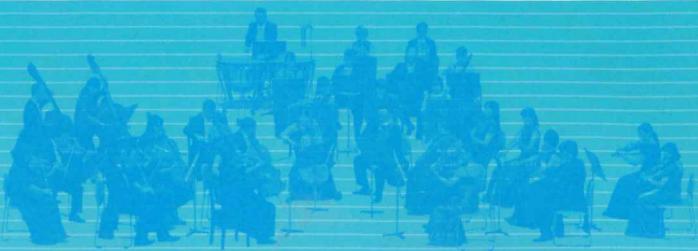


入場時の手指消毒、マスク着用
は必ずお願いいたします。



会場内では社会的距離を確保し、
会話は控えめでお願ひいたします。

NOCE定期演奏会の 4つの楽しみ方



コロナ対策で実施できなかった“ロビーコンサート”的代わりに本番前のステージでお楽しみください。

その1 木管メンバーによるプレコンサート

長崎定期、大村定期各開演30分前

- ダマーズ、ジャン=ミシェル／
木管五重奏曲のための17の変奏曲

出演／永留結花(フルート)、桐谷美貴子(オーボエ)、
樋口芳美(クラリネット)、山下真知子(ホルン)、種口敬明(ファゴット)

木5の醍醐味は何と言っても、5つの楽器が織りなすその多彩な響き。ラヴェルにも影響を受けたフランスの作曲家、ダマーズが残した本作品は、吹き手も聴き手も思わずニヤリとしてしまうようなユーモアたっぷりの1曲です。個性溢れるNOCE管楽器隊によるプレコンをどうぞお聴き逃しなく♪

ながとめ ゆか
永留結花(フルート)



永留結花



桐谷美貴子



樋口芳美



山下真知子



種口敬明

3ヶ月間のアーカイブ視聴ができます

その2 「有料ライブ配信」



大村定期の模様を何度もたっぷり楽しめます！

5月21日(土) 14時～

オンライン鑑賞券 料金：1,000円(税込)

オンライン鑑賞券の購入は

[テレビマンユニオンチャンネル
メンバーズTVUチャンネルCLASSICALMUSIC]

<https://members.tvuch.com/>



その3 滑石公民館講座

“音楽をたのしむ” 長崎OMURA室内合奏団による
「長崎まちかどコンサート」

4月30日(土) 14時開演(13時30分開場)

長崎市滑石公民館講堂

入場無料 事前予約50名様限り ☎095-856-3751

・愛の挨拶／エルガーほか
出演／鈴木優子(ヴァイオリン)、齊藤亨(ヴァイオリン)、
下田直子(チェロ)、池田祐希(ファゴット)

その4 クラシック講座開催



5月の定期演奏会で取り上げる作曲家エルガー・ラヴェル・バルトークについて演奏を交えながら深く知ることができる1時間！この公演を聴くと定期演奏会が更に楽しく聴けること間違いない♪

長崎OMURA室内合奏団「クラシック講座」

5月8日(日) 13時～14時 長崎市小ヶ倉地区ふれあいセンター

出演／永留結花(フルート) 鈴木優子(ヴァイオリン) 下田直子(チェロ)
池田祐希(ファゴット) 池田文子(ヴィオラ)

入場無料 事前予約50名様限り ☎095-878-3796



永留結花



池田祐希



鈴木優子



池田文子



下田直子

ご来場
ありがとうございました!



Look back upon NOCE

～2022年2月～4月の演奏活動を振り返って～

音楽童話 「セロ弾きのゴーシュ」 阿久根公演

2月27日(日) 風テラスあくね

鹿児島県内初のNOCEコンサートでした。
朗読に参加した市民の皆様とも息ぴったり
のステージとなりました。



大村市音楽があふれるまちづくり事業 響け、大村の音楽♪～NOCE&大村の音楽家達。～

3月6日(日) シーハットおおむら・さくらホール

NOCEと大村で活動している村岡恵理子さん（ソプラノ）やENISHI、ミュージカル劇団夢桜による楽しい共演コンサートとなりました。指揮は日高哲英さんでした。



【お客様の声】

★クラシック、声楽、ミュージカル、映画音楽
などいろいろなジャンルで楽しめました。

★近くでこんなに素敵な音楽が聴けて感動しました。コロナ禍だからこそいつもと違った感じで心に響きました。

長崎県「若者が輝く!文化芸術による地域ブランディング事業」

長崎県からの委託事業を平戸市と雲仙市で開催しました。



長崎OMURA室内合奏団による 寺院コンサート

3月11日(金) 平戸市本成寺

すばらしい本成寺の本堂でのコンサート
でした。定員いっぱいのお客様がご来
場くださいました。



長崎OMURA室内合奏団 &小浜中学校吹奏楽部 ドリームコンサート

3月19日(土)・雲仙市ハマユリックスホール

NOCEと小浜中学校吹奏楽部の演奏で
会場全体が大盛り上がりでした。NOCEは
長崎県内の若い世代の音楽文化を全力で
応援しています。

室内楽シリーズvol.14

4月4日(月) 大村市カトリック水主町教会

コロナ禍で中止が続き、2年ぶりの開催に
なりましたが、豊かな響きがチャペルいっぱい
に広がる素敵なコンサートでした。



♪NOCEのイベント・公演情報 2022年5月～2022年7月



会場でお待ち
しています！

※コロナ対策を万全にしながら生の音楽をお届けします。

武雄市 スクールコンサート 6月15日(水)～17日(金)

佐賀県武雄市でNOCEのスクール
コンサートを開催します。



♪ 音楽と私

グスタフ・マーラーとの出会いは高校時代、読売Giantsファンの私が音楽室のレコード棚で見つけた「巨人」というタイトルの曲だった。マーラーの交響曲第1番「巨人(Titan)」は、それまで親しんでいたモーツアルトやベートーヴェンと違い、4管編成にホルン7本、ティンパニ2台で演奏時間55分という大曲。若々しく親しみやすい曲想と時々見せる民謡のような俗っぽいメロディーが目新しく、いっぺんに虜になった。

今でこそマーラーの交響曲は普通のコンサートアイテムだが、当時はほぼ無名、レコードを買おうにも長崎市内の楽器店には1枚もなかった。大学生協や輸入レコード店通りなど収集には苦労したが、1980年代にいきなりブームが来た。編成の大きさと曲の長さが、録音メディアのデジタル化とCD普及にマッチしたのだろう。それ以降、集めたマー

ラーのレコードとCDは100枚を優に超えている。

長崎でのマーラー演奏といえば、小林研一郎＆日フィルの“炎の”第5番、(長崎ブリックホール館長)

長崎大学オケの激演に喝采した「巨人」、浦上天主堂での小澤征爾「復活」コンサートも懐かしい。ただ、そのスケールゆえに長崎ではなかなか聴けないのが悔しい。

手持ちのCDの中に、リノス・アンサンブルが13名で演奏した室内アンサンブル版の第4番がある。これってNOCEで取り組めないかしら。弦楽のみなら第5番の「アダージエット」もやれそうか。地元のプロが演奏するマーラー、松原先生いかがでしょうか？



ながさわ かずひこ
長澤 和彦

(長崎ブリックホール館長)



あの団員に会いたい！

ひと
第10回



社会に貢献できているのかなと思えるものが音楽ですね

たね ぐち たか あき
ファゴット 種口敬明さん

▶ ファゴットとの出会い

大学でオケのサークルに入って、そこで始めたのがきっかけです。オーボエがやりたくて入ったのですが、先に入った同学年の人もオーボエやっていました、ファゴットは誰も希望者がいなく、一週間でファゴットにかかりました。

▶ ファゴットの特徴

ファゴットは柔らかい楓の木でできています、木の質の通りで柔らかい音が出ます。色っぽい柔らかい表現もできるし、滑稽な快活な表現もできるし、振れ幅が広いのが特徴の楽器です。

▶ 教員から演奏家へ

1回目の大学受験は理系志望でしたが、農学部の受験に失敗して、もう机に向かって勉強したくないと思いました。それで音楽の教員になろうと、音楽の勉強をしっかりやりだして、大学に入りました。大学を卒業して3年間教員を経験しました。同時にテレビなどで演奏活動を始めて、だんだんそっちが面白くなって、20代半ばでドイツに短期留学し、そこからは演奏家生活ですね。長崎OMURA室内合奏団には、管楽器を入れようとなつたときに中村哲さんに声をかけていただいて、それがきっかけで入団しました。

▶ 種口さんにとって音楽とは？

生きている以上は人と関わって人の役に立たないといけないなどいつも思うんですけど、それができる唯一のことが音楽でした。ちょっと社会に貢献できているのかなと思えるものが音楽ですね。

▶ 冷や汗ものの失敗談

演奏するときは練習用の楽譜と本番用の楽譜があります。僕は練習用の楽譜に細かく書き込むので、練習用の譜面を本番でも使うことが多いのです。ある本番でいっぱい書き込んだ楽譜を楽屋に置いたまま舞台に出しまって、本番用のまっさらな譜面を見て書き込みを思い出しだきながら吹きましたが、それはすごく肝を冷やしました。

▶ 最近感動したこと

昨年の定期演奏会の大村公演のとき、長い間定期演奏会ができずやっとこぎ着けた演奏会だったのですが、何よりも嬉しかったのはお客様が最後の1人の演奏者が退場するまでずっと大きな拍手をしてくださったのです。こんなに応援してくださっていたのかと、それが嬉しかったし、大変感動しました。

▶ 種口さんといえば“サービス精神旺盛”ですが、あれは地ですか？

以前、前川清さんが「ぼくは仕事のために仕方なく歌を歌っています」という話をされていて、似たようなところがあるかもしれません。根はふざけた感じではないです。まじめな部分もあるし、明るい楽しい部分もあるし、二面性があるというか(笑)。

▶ パトロネージュ会員のみなさまへ

いつも演奏会に来てくださいって温かい拍手をいただいてすごくありがたいです。みなさんは36番目のメンバーみたいな感じだと思っています。「みんなで長崎や大村の文化を盛り上げていきましょう」ということをお伝えしたいですね。

種口 敬明さんのデータファイル

出身:長崎市。母は大村市出身です

趣味:リコーダーを吹くこと

好きな言葉:名人は人を誹(そし)らず

個人活動:プリコット、木管アンサンブルポエ

ご支援ありがとうございます (4月1日) 法人会員数 66件(-2件)
現在 個人会員数190人(-3人)

NPOは、会員皆様の会費が主な収入源です。
周りの方で、興味のある方がいたら、ぜひお誘い下さい。

編集後記

3回目のコロナワクチンを打ちました。1、2回はファイザーで3回目はモデルナにしました。この組み合わせは防衛体制は最強とされていますがコロナより先に自分が撃沈しました。(中原)

先日映画『ウエストサイドストーリー』を観ました！映画を彩る名曲の数々にも改めて魅了されました♪まだご覧になつていらない方はぜひ！(いけっち)

いよいよ待望の5月定期始動。佐世保8月定期も乞う期待です！今号の表紙は平和の色“ブルー”。世界平和を祈りつつNOCEをフルスイング応援！(オガナリヨ)